

次代に向けた企業価値創造へのチャレンジ

ダイドーグループホールディングス株式会社

2017年1月21日「ダイドードリンコ株式会社」より商号変更

証券コード:2590 (東証第一部)



目次

1. DyDoグループについて

 $P. 2 \sim 9$

2. 当社グループのビジネスモデル

P.10~23

3. 次代に向けた企業価値創造へのチャレンジ

P.24~31

4. 持続的成長の実現に向けて

P.32~38



1. DyDoグループについて

会社概要



◆商号 ダイドーグループホールディングス株式会社

◆本社 大阪市北区中之島二丁目2番7号(〒530-0005)

◆代表者 代表取締役社長 髙松富也

◆設立 1975年1月27日

◆事業年度 毎年1月21日から翌年1月20日まで

◆資本金 1,924,325,000円

◆発行可能株式総数 50,000,000株

◆発行済株式総数 16,568,500株

◆単元株式数 100株

◆株主数 30,524名

◆従業員数 連結:3,602名 (2017年1月20日現在)

(2017年7月20日現在)

DyDoグループの変遷



(億円) 新規事業 2,000 海外展開 モスクワでの自販機 ビジネス展開 トルコ・マレージア市場 への参入



・ダイドー㈱設立 ・HOT&・デミタス ・ポイント ・おしゃべり・MIU発売

カード機能 機能 **COLD** コーヒー ブレンド

自販機 発売 コーヒー発売







2001年

2003年





・ダイドー ブレンド

・㈱たらみ買収

・世界一の バリスタ 監修シリ

ブランド の強化 ーズ発売







· Smile STAND

1,000

清涼飲料販売事業を 分社化



・ガソリンスタンドで ・配置薬業で創業 ドリンク剤の製造開始





・奈良県葛城市に 工場を新築移転



・医薬部外品の規制緩和 によりOEMの本格化



美容系ドリンク の受注拡大



※ 売上イメージ

1950s

1970s

ドリンク剤と

缶コーヒーを販売

1990s

2010s

2018

DyDoグループの事業セグメント



☆独自のビジネスモデル持つ3つの事業と成長する海外事業

ダイドーグループホールディングス

国内飲料事業

- ・ダイドードリンコ
- ・ダイドービバレッジ サービス ほか



海外飲料事業

【展開国】

- ・トルコ
- ・マレーシア
- ・ロシア ほか



医薬品関連事業

・大同薬品工業



食品事業



グループ理念・ビジョン・スローガン





♥社長就任の2014年に新たに制定

グループ理念



人と、社会と、共に喜び、共に栄える。

その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける。

グループビジョン

高い品質にいつもサブライズを添えて、 DyDoはお客様と共に。

「オンリーDyDo」のおいしさと健康をお客様にお届けします。

グループ全体で生み出す製品・企業活動「オールDvDo」が、 DyDoは社会と共に。

豊かで元気な社会づくりに貢献します。

国境も既存の枠組みも越えて、 DyDoは次代と共に。

次代に向けて「DvDoスタンダード」を創造します。

飽くなき [DyDoチャレンジ]で、 DyDoは人と共に。

DyDoグループに関わるすべての人の幸せを実現します。

グループスローガン

こころとからだに、 おいしいものを



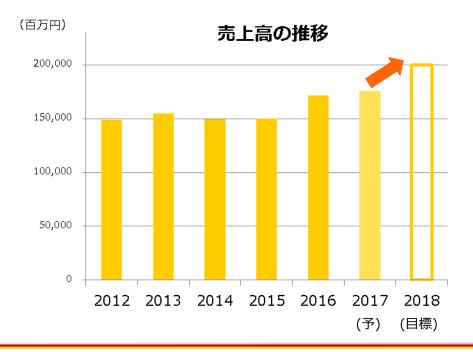


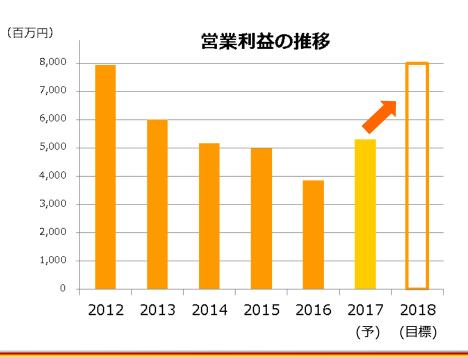
連結業績の推移

(単位:百万円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 (予)
売 上 高	154,828	149,526	149,856	171,401	175,500
営 業 利 益	6,004	5,174	4,988	3,857	5,300
経常利益	5,962	4,470	4,262	3,741	5,200
当期純利益*	3,712	2,322	2,347	3,269	3,000

^{*}親会社株主に帰属する当期純利益





中期経営計画「Challenge the Next Stage」





2018年度 規領域 "食や健康"関連の新規事業展開 売上高:2,000億円 営業利益率:4.0% 新たな 一層の業績向上生産性の改善 事業基盤 (安定キャッシュの創出) 確立への Challenge 既存事業 成長への Challenge 既存領域 海外展開 Tarami 🕽 国内飲料事業 海外展開への による 医薬品 Challenge 食品事業 市場の拡大 関連事業 商品力強化への イノベーティブな商品開発の実現 Challenge 海 外 玉 内

Memo



2. 当社グループのビジネスモデル

国内飲料事業について



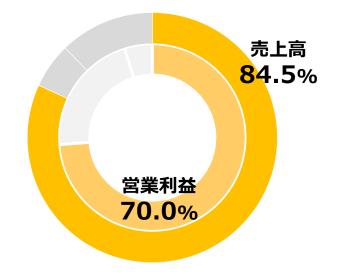
◯DyDoグループの中核を担う飲料事業





- ダイドードリンコ (大阪府大阪市)
- ダイドービバレッジサービス (同上)ほか

















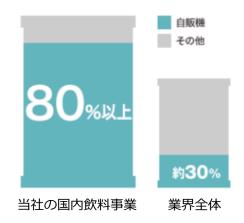




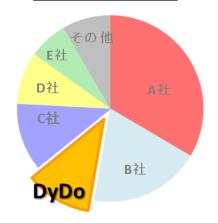


○自販機×コーヒーによる安定した利益の確保

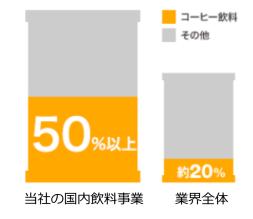
自販機での販売が80%以上



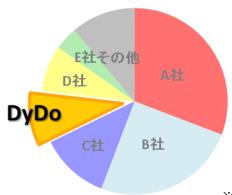
自販機台数のシェア



コーヒー飲料の売上が50%以上







※業界実績/シェアは当社調べ



○創業以来、香料無添加にこだわり、「本物のおいしさ」を お客様へお届け



1975年発売、 当社の基幹ブランド 「ダイド―ブレンド」



8/28 新発売 「新オトナBlend」











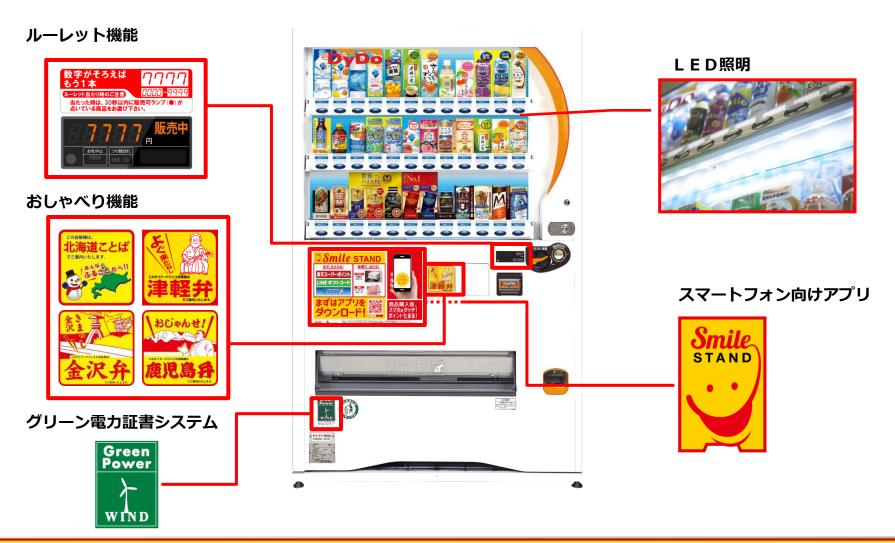






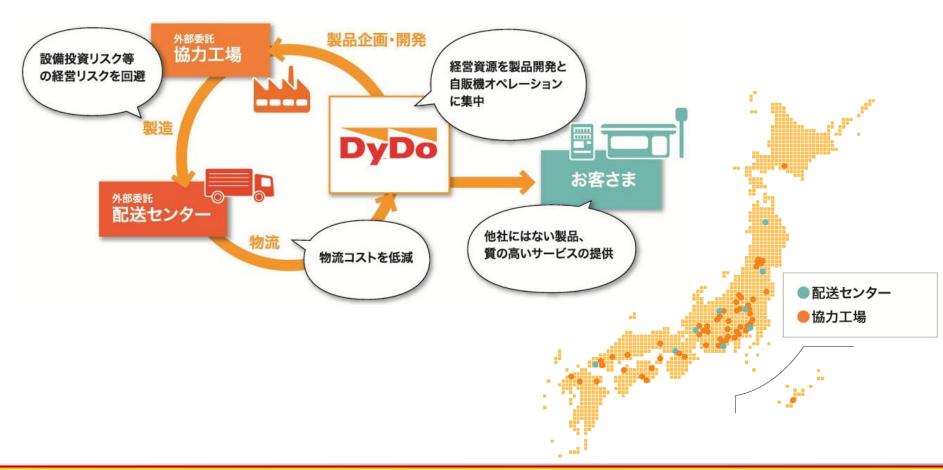


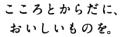
○自販機はダイドードリンコの大切な店舗





○ファブレス経営による効率的な経営資源の活用





医薬品関連事業について

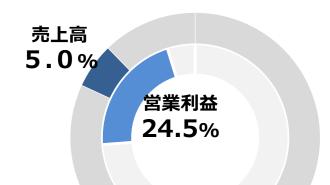


○ドリンク剤のOEMに特化したビジネスを展開



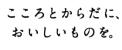
大同薬品工業 (奈良県葛城市)

○ 医薬品関連事業の構成比 (2016年度)









医薬品関連事業について





共同開発 メーカー **100**社以上

● 医薬品・医薬部外品から、清涼 飲料等、年間約50品目の開発に 携わり、業界トップクラスの実績に より高い収益性を維持



営業利益率 **10**%以上

⇒ 安全安心な生産体制の維持・強化により、商品品質No.1に向けた
「魅せる工場作り」に取り組み、
さらなる飛躍をめざす



業界 **トップクラス** の実績

食品事業について

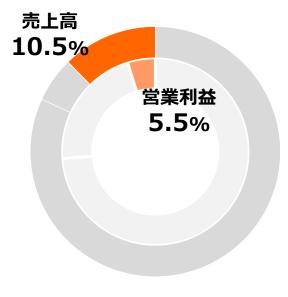


◯フルーツデザートゼリーの製造・販売



たらみ(長崎県長崎市)

食品事業の構成比(2016年度)





























食品事業について

- 高い知名度とブランドカにより、 フルーツデザートゼリー市場に おいてトップシェアを維持
- 今後はフルーツデザートゼリー市場での確固たる地位を築きつつ、より付加価値の高い商品、新たな市場、販売チャネルの開拓を志向

○ ドライゼリー市場のシェア



※当社調べ



海外飲料事業について(トルコ)



♥特徴と強み

- 2016年、現地企業のM&Aにより進出
- 海外企業の中核を担う事業規模
- 現地に浸透した既存ブランドを活用

●今後の戦略

- コアブランドへの集中による販売 促進活動の効率化
- 日本のノウハウを活用した新カテゴリ創出へのチャレンジ

●主要ブランド

ミネラルウォーター 「Saka (サカ)」

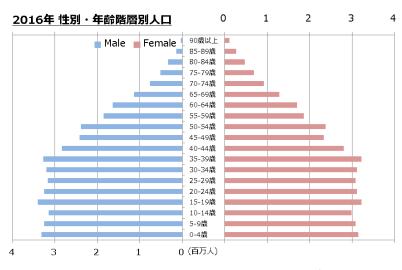




炭酸飲料「ÇAMLICA (チャムリジャ)」



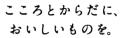
▶ 市場背景(人口ピラミッド)



※Turkish Statistical Institute公表値に基づき当社作成

● 炭酸飲料 「Maltana(モルタナ)」





海外飲料事業について(マレーシア)



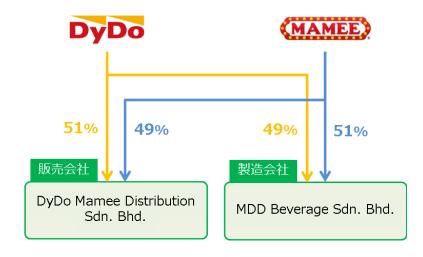
♥ 特徴と強み

- 2016年、マレーシア食品大手 「Mamee社」の飲料事業部門に 資本参加し、合弁会社化
- スナック菓子・カップ麺等でトップ シェアを持つ、Mamee社の販路を 活用

🔾 今後の戦略

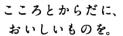
- チルド飲料(要冷蔵商品)への 注力、ブランド育成
- ▶ ドライ飲料(常温商品)の安定 販売、効果的な販売促進活動
- 日本のノウハウを活用した新商品 の発売

資本構成 ※数値は各グループの出資比率



● 主要ブランド





海外飲料事業について (ロシア)



♥特徴と強み

- ロシア・モスクワ市における 自販機設置を推進
- 日本DyDoの自販機・商品を輸出し 展開

🗘 今後の戦略

- 公共施設を中心に設置台数を拡大
- 日本のノウハウを活用した高い オペレーション品質による1台 あたりの売上の拡大



ガソリンスタンド

◇人気のある商品









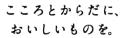




映画館



鉄道駅



安定的な財務基盤を背景に新たな成長へ



●連結貸借対照表の状況

(2017年1月20日現在)

(百万円)

金融資産	73,466	有利子負債	37,738
77 HJ 2-4/		仕入債務	19,908
		未払金	11,158
	_	その他負債	9,373
一 売上債権 	17,955		
たな卸資産	8,470		
その他資産	63,979	純資産	85,693



3. 次代に向けた 企業価値創造へのチャレンジ

事業戦略



既存事業成長への

Challenge

自販機ビジネスモデルを革新し、 キャッシュフローの継続的拡大を図る

商品力強化への

Challenge

「ダイドーブレンド」のブランドカをさらに高め、 トップブランドをめざす

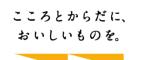
海外展開への

Challenge

海外事業展開を加速し、トップラインの飛躍的成長を実現する

新たな事業基盤確立への Challenge

M&A戦略により、新たな収益の柱を確立する



自販機チャネルにかかる 固定費構造の抜本的改革へのチャレンジ

♥環境負荷低減とコストダウンの両立

- 自販機調達方法の見直しによる1台当り購入コストの低減
- 自販機使用年数の長期化などによる環境面への配慮

飲料販売部門(既存)における 設備投資及びPLベースの投資負担の低減イメージ



自販機チャネルにかかる 固定費構造の抜本的改革へのチャレンジ



○ 自販機使用年数の長期化への取り組み

○ フロンティアベンダー



ユニットは新品 ヒートポンプ機能を搭載 • ヒートポンプ機能のイメージ

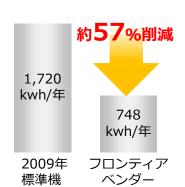


ヒートポンプ機能

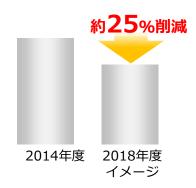
商品冷却時に発生した熱を、 商品を加熱する熱として有効 利用する機能

取り組みによる効果

年間消費電力量



<u>鉄資源の消費量</u>





自販機を通じた新たな価値創造

◯今後、全国15万台の自販機をIoTプラットフォーム化

• 飲料を買うだけの自販機から情報発信基地への変革

♥2016年4月 リリース 「Smile STAND」

- 20-30代をターゲットに、 自販機での飲料購入による 新たな楽しみを提供
 - Smile SLOT
 - ポイント交換サービス
 - ゲームポイント交換サービス
- 蓄積したデータはマーケティングに活用

○2017年9月 スタート 「Smile Town Portal」



自販機から近隣のグルメ情報、ビューティー 情報など"ワクワクする情報"をお届け





自販機は生活圏内の情報をお届けする

情報発信基地 へ進化

自販機を通じた新たな価値創造



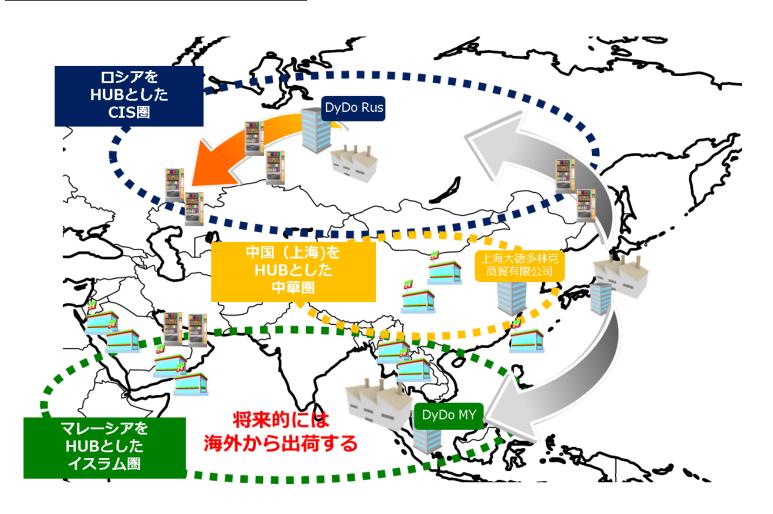
○自販機を社会インフラとして必要不可欠な存在へ

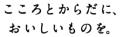


海外展開の将来像



 □シアをHUBとしたCIS圏、マレーシアをHUBとしたイスラム圏、 上海をHUBとした中華圏に展開していく。

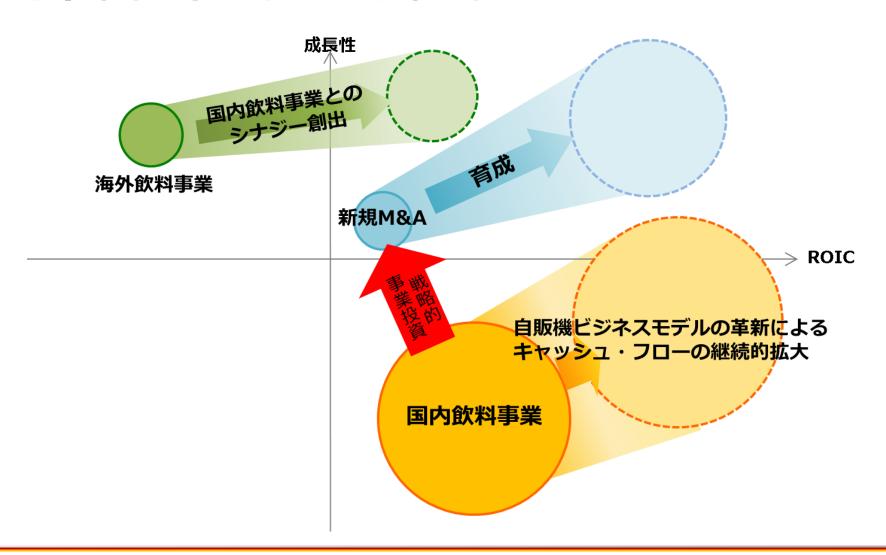




成長戦略の方向性



●事業ポートフォリオの強化・拡充





4. 持続的成長の実現に向けて



資本政策と株主還元について

株主還元

持続的利益成長の実現

資本の有効活用 戦略的投資による新たな事業基盤確立

財務健全性の維持 既存事業のキャッシュ創出力向上

	基本的な考え方
資本の有効活用	・内部留保は、持続的利益成長・資本効率向上につながる 戦略的事業投資に優先的に充当
財務健全性の維持	・既存事業による安定的なキャッシュの創出力の向上 ・継続的な戦略的事業投資を可能にする財務基盤の維持
株主還元	・厳しい収益環境下においても、安定配当維持継続 ・持続的利益成長の実現により中期的な増配基調をめざす

株主還元 - 配当金 -



⊋安定的な株主還元

(2017年1月20日現在)

親会社株主に帰属する 当期純利益 (32億69百万円)



中間配当/1株:30円

(4億97百万円)

期末配当/1株:30円

(4億97百万円)

地域コミュニティ真献槓立金(1億円)

繰越利益剰余金 (21億75百万円) 安定的な 株主還元

地域社会への継続的な貢献

将来の 戦略投資に 備える内部留保

地域・社会への還元





▽「地域コミュニティ貢献積立金」を活用した社会貢献活動

● 東日本大震災への継続支援

1千万円 「ハタチ基金」 ハタチ基金 ● 東北復興 "絆" 義援金自販機による支援



学校教育におけるストリート ダンス等の文化支援



● 職業体験イベント「自動 販売機体験授業」を実施



自販機による社会貢献 「レンタルアンブレラ」を実施





地域・社会への還元



♥ダイドードリンコ「日本の祭り」

全国各地に伝わるお祭りを応援。

祭りを通じて地域の絆作り、活性化に役立つために、2017年は全国35箇所の祭りを 応援。この活動も15年目を迎え、累計378件を数えるにいたりました。

🗘 2017年応援する祭り(関東圏)

7/20~22 埼玉県 熊谷うちわ祭



8/11~15 東京都 深川八幡祭り



8/16 千葉県 鬼来迎



10/7・8 栃木県 鹿沼秋祭り (鹿沼今宮神社祭の 屋台行事)



10/23 神奈川県 菊名の飴屋踊り



株主還元 - 株主優待 -



(割当基準日:1月20日、7月20日)



2017年1月20日現在の株主の皆様に進呈した株主優待品

→ すべての株主の皆様

「株主様専用WEBサイト」にて、グループ企業の 商品をご優待価格で販売 「2017年版知って得する株主優待*」で

読者が選ぶ株主優待「**人気ランキング**」 **上位ランクイン!**



*2016年11月 野村 I R 発行



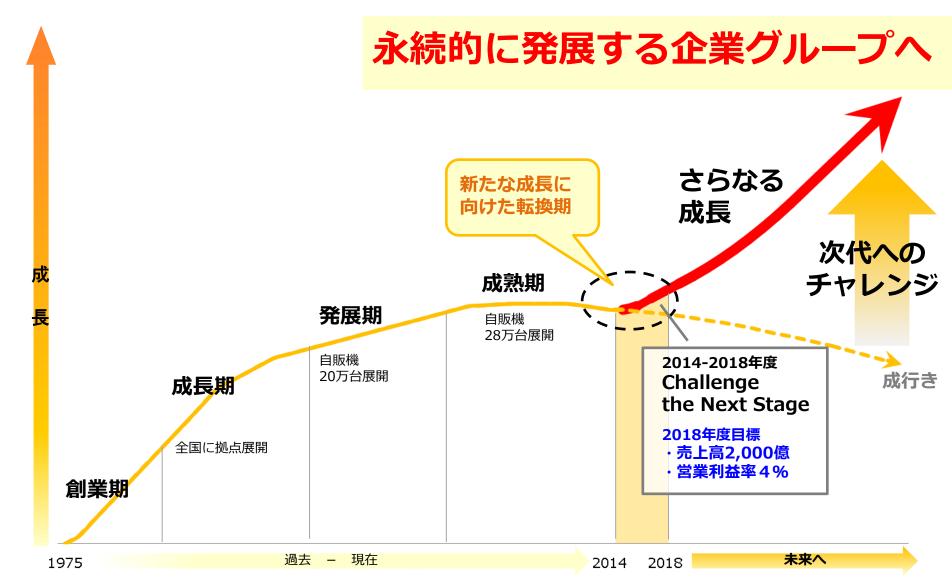
株主優待総合ランキング

7年連続 総合第2位

順位	社名	
1	日清食品ホールディングス	
2	ダイドーグループ ホールディングス	
3	イオン	

永続的に発展する企業グループへ





こころとからだに、

こころとからだに、おいしいものを。



本資料に記載されている、当社グループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の 事実に関するもの以外は、将来の業績に関する見通しであり、これらは当社において現時点で入手可 能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の業績は、不確定要素 や経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目 的としたものではございません。投資に関する決定はご自身の判断でなさるようにお願いいたします。